

## ■ トップメッセージ

東罐興業は、昭和18年の創業以来、紙とプラスチックを素材としたさまざまな包装容器を世に送り出してきました。

今日の消費社会において、包装容器に求められる役割は多岐にわたります。

大切な商品を消費者の皆さまにお届けする流通過程では、内容物を衝撃から護るだけでなく、酸素や湿気を遮断して中身の鮮度を保持する役割を果たします。また、店頭では容器の透明性や印刷美麗性による商品自体の訴求効果や、内容物の情報を正しく伝えることで消費者に安心・安全を提供する役割が期待されます。そして、消費シーンでは内容物の熱から手指を守る断熱効果や、ユニバーサルデザインによる年齢性別を問わない使いやすさが求められます。

このように、包装容器はさまざまな場面で人々の豊かな消費生活のお役に立ち、今日では無くてはならない重要な社会インフラの一つとなっています。

しかし一方で使い捨ての包装容器は、その役割を果たした後は処分されるのが宿命であり、環境に負荷を与える側面を持っています。東罐興業は、包装容器メーカーとしてその事実をしっかりと受け止め、サプライチェーンのあらゆる場面で環境負荷の低減に努めています。

例えば製造の段階では「FSC®/CoC認証」を取得し、森林認証紙を用いた紙コップを製造することができるようになりました。処分の段階では『使用した後に折りたたむことで廃棄物を小さくできる減容ボトル』や『分別しやすい容器』を開発しました。

私たちが作る包装容器は、単体で消費者の手に届くものは少なく、お客様の大切な商品の中に入れて消費者の皆さまのもとで使っていただくものがほとんどです。つまりサプライチェーンの途中からは内容物と一体となり、お客様の商品の一部として流通していきます。社会に貢献する包装容器は、消費者の皆さまにご利用いただくことでお客様の商品とともに社会に貢献することができるのです。

当社は『社会のニーズと自然環境に調和した製品とシステムを創造し生活文化の向上に貢献する』ことを経営理念に掲げており、高まる社会ニーズに追いつき、それを先取りしてお応えしていくことが使命と考えます。私たちはその使命を胸に、これからも包装容器を通じて進化し続け、社会に貢献して参ります。

この環境・社会報告書は環境への取り組みのほか、品質保証体制、コーポレート・ガバナンス、リスク・コンプライアンス活動、社会とのかかわり、人事制度・職場環境など、当社をとりまくあらゆるステークホルダーとのつながりについてご紹介しています。私たちのCSR活動の一端をご理解いただければ幸いです。

東罐興業株式会社  
代表取締役社長

高橋 精康

